

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名

福岡県

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	福岡県 鞍手郡 鞍手町立 新延小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	15
児童数	22	26	30	15	24	20	2	139	

研究の概要

1. 研究主題

基礎・基本の定着を図り、「自ら学ぶ力」を育てる指導方法の研究
～算数科・理科を中心に～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・ 1・2年生・算数
これまで取り組んできた低学年における基礎・基本の確実な定着の取り組みをさらに進めていくため。
- ・ 3年生・算数
これまでの研究成果をもとに、実施学年の枠を広げ研究に取り組むため。
- ・ 6年生・算数
小学校での算数科の学習の総まとめと位置づけ、全学年にわたる基礎・基本の確実な定着を図っていくため。
- ・ 4年生・理科
算数科での研究成果をもとに、実施教科の枠を広げた研究に取り組むため。
- ・ 5年生・理科
4年生での取り組みを、継続・発展して取り組むことで、さらに研究を進め、その成果を検証していくため。

(2) 年次ごとの計画

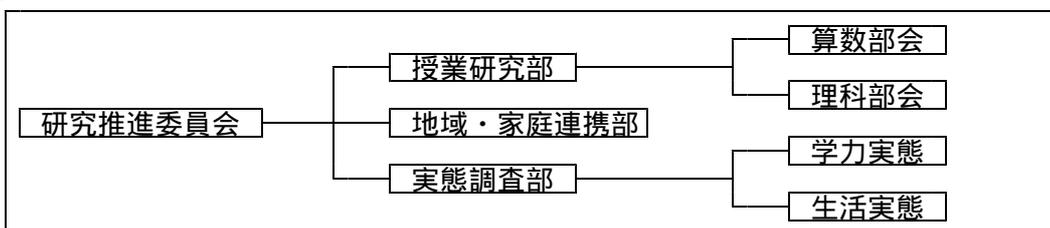
平成15年度	<p>研究の目標 算数科や理科の学習の中で、基礎・基本の力を培い、問題解決の力をつけていけるような単元構成をし学習形態の工夫をすれば、子どもたちが生き生きと学習に取り組み、自ら学ぶ力を育てることができるであろう。</p> <p>研究の内容と方法</p> <p>① 個に応じたきめ細かな指導方法・指導体制の工夫改善 ・ T T、習熟度別、課題別学習等学習形態の工夫・集団支援体制の工夫 ・ 補充的な教材の開発・個人差に応じた学習プリントの作成</p> <p>② 評価を生かした授業の工夫・改善 ・ レディネスを生かした授業プラン作り ・ 評価カード・自己評価カードの活用</p> <p>③ 学力を向上させるための日常的指導の推進 ・ ドリルタイム・くりくりタイム・チャレンジタイム ・ 算数・国語の「新延小でつきたい基礎・基本の力」の取り組み ・ 聞く・話す力をつけていく取り組み・朝読書 ・ 家庭学習の習慣化(学年・個人差に応じた家庭学習・自学の推進) ・ 基本的生活習慣の育成</p>
--------	---

平成16年度	<p>研究の目標 算数科や理科の学習の中で、基礎・基本の力を培い、問題解決の力をつけていけるような単元構成をし個に応じた指導方法の工夫をすれば、子どもたちが生き生きと学習に取り組み、自ら学ぶ力を育てることができるであろう。</p>
--------	---

研究の内容と方法

- ① 個に応じたきめ細かな指導方法・指導体制の工夫改善
 - ・T.T、習熟度別、課題別学習等学習形態の工夫・集団支援体制の工夫
 - ・補足的・発展的な教材の開発・個人差に応じた学習プリントの作成
- ② 評価を生かした授業の工夫・改善
 - ・レディネスを生かした授業プラン作り
 - ・評価カード・自己評価カードの活用
- ③ 学力を向上させるための日常的指導の推進
 - ・ドリルタイム・くりくりタイム・チャレンジタイム
 - ・算数・国語の「新延小でつきたい基礎・基本の力」の取り組み
 - ・聞く・話す力をつけていく取り組み
 - ・学び方の習得を重視した指導
 - ・朝読書
 - ・家庭学習の習慣化（学年・個人差に応じた家庭学習・自学の推進）
 - ・基本的生活習慣の育成

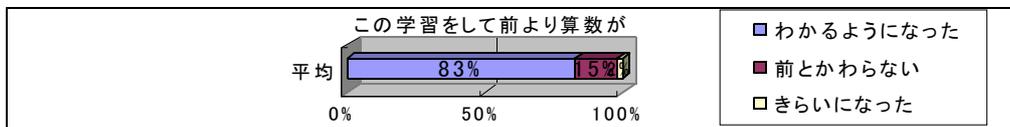
(3) 研究推進体制



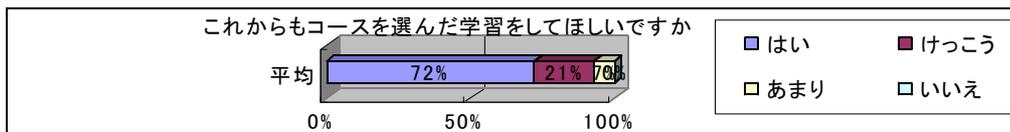
平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

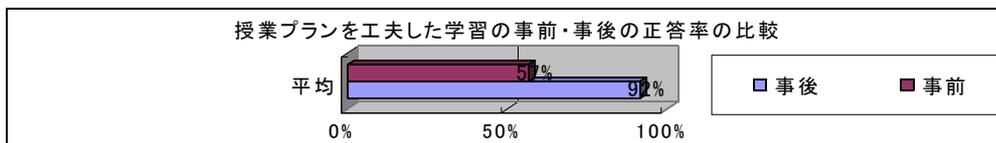
算数に関しては、習熟場面での自己診断テストをもとにした自己選択による習熟度別学習や、習熟方法・習熟問題の自己選択によるペース別学習など個に応じた学習形態の工夫などに取り組み、学習意欲・理解共に高まってきている。



理科に関しては、個に応じた課題を選択できるコース別学習に取り組むことで、子どもたちの理科に対する学習意欲が高まってきている。



事前の実態調査をもとに1時間1時間の評価の内容・方法・基準を明らかにして、評価カードを活用することで、一人ひとりの課題や伸びを把握し、個別の指導に役立てることができた。



個人差に対応した学習プリントやヒントカードなどを活用することで、自分のペースで学習でき、意欲や理解が深まり、問題解決した喜びを味わわせることができた。

日常的な取り組みとして、朝のドリルタイム・学習のはじめのくりくりタイムなどを通して、学習の定着が図られてきている。

家庭学習についての共通理解を図り、低・中・高学年ごとに、宿題と自学に取り組むことで、自ら学んでいく学習習慣が少しずつ身につけてきている。

2. 今後の課題

指導方法・指導体制の工夫については、かなり改善がみられたが、習熟度別学習などについては、より個に応じた指導を行き渡らせるために、さらに改善していく必要がある。特に、発展的教材の開発・授業そのものの質を高めるための（個別指導のあり方、学び合う交流場面での指導方法の改善など）指導方法の改善など、さらに取り組んでいきたい。

評価に関しては、評価カードのさらに効果的な活用を図り、個別の支援に役立てていくだけでなく、子どもたちの自己認識力を高めより主体的な学習が図れるような自己評価カードの工夫と活用を図っていきたい。

学習の定着を図り、自学自習の力を育てるための日常的な指導や、家庭学習の推進をさらにはかかっていく。

学力等把握のための学校としての取り組み

学力テスト
 学年末の総括的評価を行い次年度の参考にする。

単元の事前事後のテスト
 単元の事前テストで既習・未習事項についてのレディネスを調べそれを生かした授業プランをつくり、学習後も同じテストをし比較検証し事後の定着のための指導に役立てる。

習熟度別の前の自己診断テスト
 単元の習熟場面の前に自己診断テストをし、それをもとに子どもたちに習熟度別のコースを自己選択させる。教師は全体と、個の課題を明らかにし、一人ひとりの習熟を図っていく。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

* 研究会、説明会等の開催実績

第1回公開授業および情報交換会					当日の学習形態
平成15年	6月26日	1年生	算数	たし算	教科別+TT
			国語	助詞「は・を・へ」	教科別少人数
第2回公開授業および情報交換会					
平成15年	9月18日	5年生	理科	てことものの重さ	課題別
学力向上フロンティア実践交流会					
平成15年	10月27日				
		1年生	算数	たし算(2)	ペース別
		2年生	算数	かけ算(1)	課題別
		3年生	算数	かけ算の筆算(1)	習熟度別
		4年生	理科	とじこめた空気と水	一斉
		5年生	理科	ふりこの動きとおもりのはたらき	課題別
		6年生	算数	分数のかけ算	一斉TT
		なかよし	生単	買い物ごっこ&ベジタブルクッキング	TT

* 保護者向けパンフレット作成、学級懇談会・地域懇談会での保護者への啓発

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無